



魔法は恋を禁止した
-後編-

ココロに封じた想いを

今、解き放つ――

魔法は恋を禁止した

―後編―

前編あらすじ



小さいころからの幼馴染



「動揺しで魔族がた襲いの時で、
かかり」

そして
桃香は禁忌の魔法を使う

優希が目を覚ますと、そこには魔力と記憶をなくした桃香がいて――



魔法は恋を
禁止した

後編

あたしは小さい頃から
桃香の事が好きだった

でも魔法少女の
恋愛は禁止
されていたから

早い段階で
諦める事を
選んだんだ

それでも
桃香を好きな
気持ちには
変わらなくて

諦めるだけじゃ
ダメなのかなって

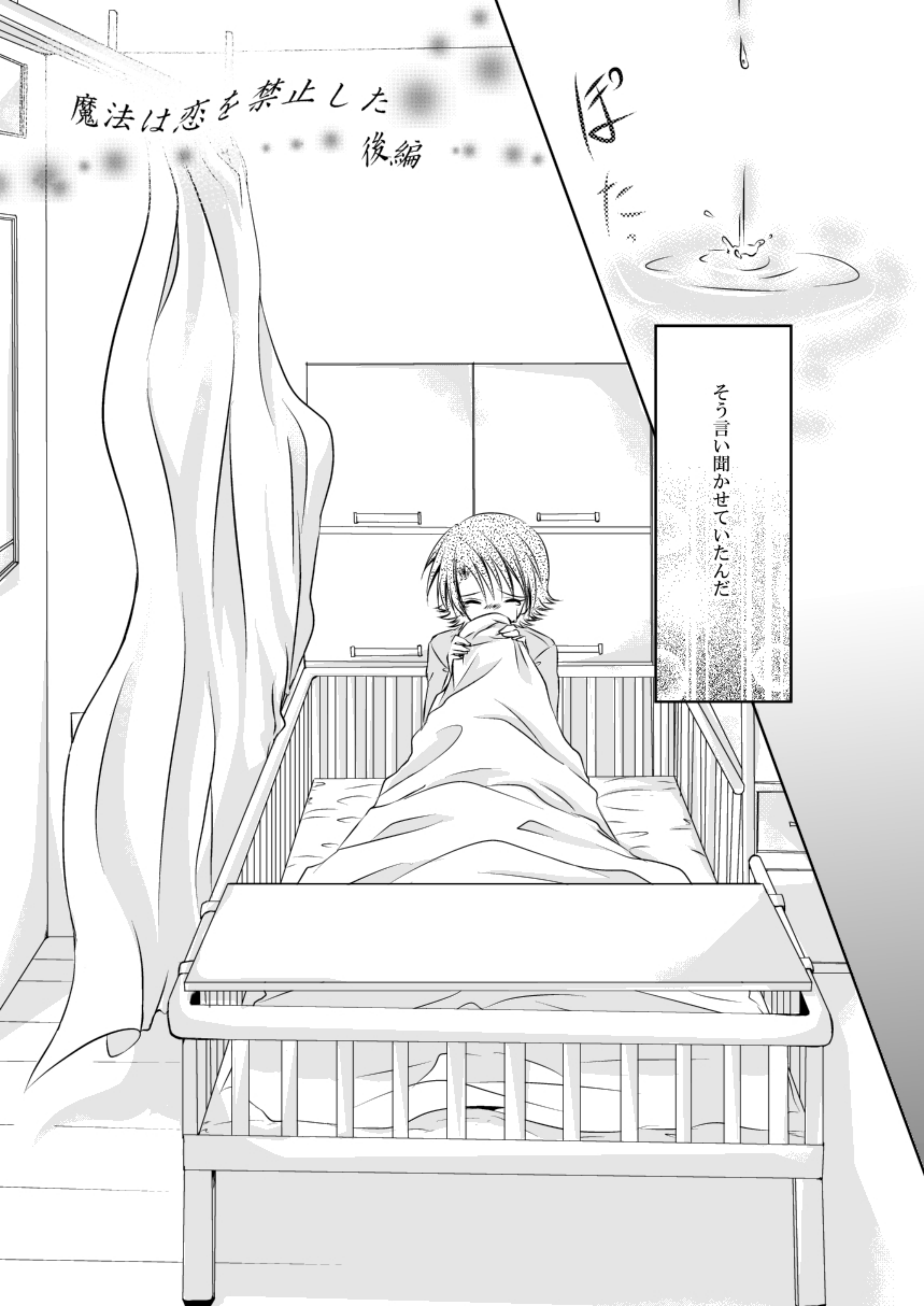
この想いを
殺す事に
したんだ

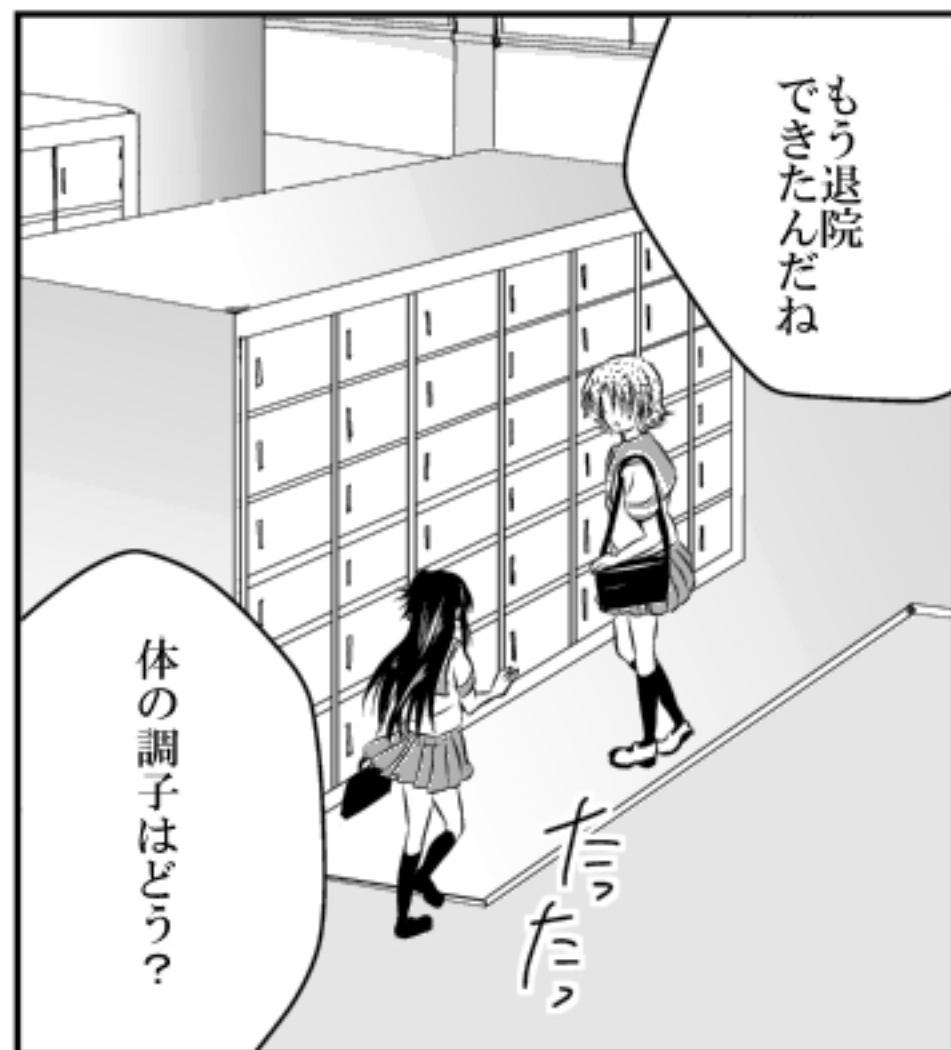
それから
あたしにとつて
桃香は親友で
最高のパートナー

魔法は恋を禁止した
後編

ぽ
た

そう言い聞かせていたんだ







…ありがとう

…井上さん

もう
あたしの知ってる
桃香はいない



桃香…

あたしが
死にかけた
あの日



好きな人に
思いを伝えたいって
思うのはいけない
事なのかな？

桃香に
好きな人が
いるって分かって
悔しかった



なんで、なんで…

桃香は
違う誰かを
好きだと思うと
悔しくて



あたしは
桃香の事が
好きなの

悲しくて…



桃香
サポートしてっ!!


感情を抑える事が
出来なかったんだ――



あの時あたしが
ちゃんとじていれば

わ、分かってるッ!

桃香もちゃんと
魔族を倒せたん
だらうね……



思い出すのは

悲しそうに泣く
桃香の顔

桃香の必死の
叫びと

それから先は
何が起った
のか分からない

優希！

優希！！